とびっくす

ラジオ体操で元気な丹波市をPR

8月24日（金）、午前6時から丹波の森公苑芝生広場で「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催され、3,000人を超える市民が参加しました。

ラジオ体操は、NHK第1ラジオで全国に放送され、丹波市の元気を全国にPRしました。

子どもたちからお年寄りまで多くの市民が参加し、一緒に気持ちよい汗を流しました

若者のチカラでまちを元気に

八幡神社（柏原町柏原）の周辺を会場に、9月8日（土）、丹波ハピネスマーケットが開催されました。地域の若者が集まって、まちを活気づけようと企画。

訪れた人々は、地元食材を使った釜炊きごはんや手づくりのスイーツなどを味わったり、オーガニック野菜や小物雑貨のショッピングを楽しんだりしました。なお、同マーケットは毎月第2土曜日に開催される予定です。

ハピネスマーケットオリジナルTシャツも人気（写真左）
42店が出店。多くの人たちで賑わいました（写真下）

大丸神戸店で丹波竜＆ちーたんをPR

大丸神戸店で開催されている「恐竜展」に合わせ、8月8日（水）から20日（月）まで、スマートフォンをつかって、「丹波竜」や「ちーたん」の立体動画が楽しめるサービスのPRなどを行いました。

ちーたんも参加し、イベントをお手伝い。観光パンフレットなどの配布も行い、丹波市の魅力をPRしました

市民と行政が地域医療について意見交換

8月21日（火）、ゆめタウンポップアップホールで「丹波市地域医療フォーラム」が開催されました。病院統合や医師不足、救急医療体制などの課題について、市民と行政による意見交換が行われ、今後の医療体制のあり方について話し合いました。

公立病院の経営改善に携わってこられた塩谷泰一氏（高松市病院事業管理者）（写真左）が講師・アドバイザーとして参加されました

市民ら約100人が参加。村上信夫氏（丹波市エグゼクティブアドバイザー）が司会をつとめ、地域医療のあり方について積極的な意見交換が行われました

市長からのメッセージ

[こちら市長執務室]

市民のみなさんには、既に新聞報道等でご存じの通り、水道部職員による不祥事が発生し、ご心配、ご迷惑をお掛けしましたこと、誠に申し訳なく、心から陳謝申し上げる次第であります。

改めて、事案の概要と経緯についてご説明申し上げます。

「水道部において、平成23年度の市島簡易水道再編推進事業で、実施設計業務に関し、業務未完了であったにも関わらず、虚偽の検査調書を作成し、今年の4月に請負代金918万1，200円全額を請負業者に支払った。また、この業者は今年の6月に自己破産している」

8月24日（金）の早朝、担当部長と課長から報告を受け、この事態を知りました。

その日のうちに議長、議会運営委員会、議員総会に報告し、27日（月）には、担当の産業建設常任委員会で議論をいただいたところです。

私が直接担当者に事情聴取を行ったところでは、「事業の調整がうまく進まず、業者の事務着手が遅れたことに負い目があった」と言い、担当課長からは、「この業者は、水道事業において、合併以前からの長い取引があり、状況を熟知し、頼りにしてきた業者だったので信頼していたが、判断が甘かった」と心情を話し、「業者との癒着等については一切なかった」と明言しました。

いずれにしても、刑法156条に違反する刑事事件で、虚偽公文書作成の罪にあたります。市役所内部で聞き取り調査を行なっても限界があり、また、調査した結果についても市民のみなさんから十分にご納得いただけない状況が考えられます。したがいまして、専門の公的機関、司法機関に判断を委ね、明らかにしていくことが正しいと考え刑事告訴する結論に至りました。部下を訴えることは本当につらいことではありますが、この度、苦渋の決断を下したところです。

私をはじめ、職員全員がこの度の事態を真摯かつ厳粛に受け止め、気の緩みを正し、誤った判断をしないよう、また、常に緊張感をもって職務に専念し、再発防止と市民のみなさんの信頼回復に努力していくことを、全職員に訓示したところであります。私も、今後、全職場の総点検を行い、不正防止等に努めてまいります。

今回、このような事態に至りましたこと、改めて市民のみなさんに謝罪申し上げ、ご報告申し上げます。

［テーマ］ ―「水道部職員の不正事務処理について」―